

6 その他

6-1 鹿児島県工業技術センター研究開発推進会議

技術革新の急速な進展に対応し、中小企業の技術向上方策に資するため、工業技術センターの研究開発の推進を図り、産業界及び学界の密接な連携のもとに、鹿児島県工業技術センター研究開発推進会議を設けている。委員ならびに会議開催は以下のとおりである。

区分	氏名	所属・役職名
産 業 部 門	濱 田 光 彦	(社) 鹿児島県工業倶楽部会長理事
	坂 元 昭 夫	(社) 鹿児島県工業倶楽部理事
	永 田 実 秋	鹿児島県産業廃水処理施設工業会会長
	相 良 正 典	鹿児島県金型治工具工業会副会長
	永 谷 伸 次	登録企業下請け取引紛争処理委員会委員
	西 園 靖 彦	鹿児島県フローリング工業協同組合
学 術 部 門	蟹 江 松 雄	鹿児島大学名誉教授〔(財) 鹿児島県産業技術振興協会研究開発審査委員長〕
	宮 内 徳 之	鹿児島大学工学部長
	永 浜 伴 紀	鹿児島大学農学部教授
	永 松 実 夫	鹿児島大学教育学部教授
	久 米 国 幹	鹿児島大学工学部助教授
	松 下 為 隆	元鹿児島大学教育学部長
	野 添 俊 雄	第一工業大学工学部長
行 政 部 門	羽 山 正 孝	鹿児島県商工労働部長
	徳 重 勝 治	鹿児島県企画部新技術情報課長
	徳 田 稜	鹿児島県商工労働部工業振興課長
	川 島 健 勇	(財) 鹿児島県産業技術振興協会事務局長

平成3年度第1回推進会議

開催日時：平成3年7月23日 13:30～16:30

開催場所：工技センター小会議室

会議内容：①平成3年度の主な事業及びセンターの課題

②分科会

- ・平成2年度研究事業・平成3年度研究事業内容について
- ・各部署の中長期ビジョンについて

③全体会議

- ・各分野ごとの代表意見をもとに全体討議

平成3年度第2回推進会議

開催日時：平成4年2月20日 13:30～17:00

開催場所：グリーンホテル錦生館

会議内容：①平成3年度主な事業及び今後の取り組みについて

②工技センターの中長期ビジョン(案)について

③分科会

- ・平成3年度研究事業・平成4年度研究事業内容について
- ・各部署の中長期ビジョンについて

④全体会議

- ・各分野ごとの代表意見・提案をもとにした全体協議

6-2 研究交流推進事業

先端技術等の積極的取り組みや研究開発能力の強化を図るため、高度な知識技能を有する研究者を招へいし、または先進研究所へ研究員を派遣して研究機能の充実を図ることを目的とする。

種別	研究者氏名	招へい研究者の所属, 派遣先	研究テーマ	期間	担当部室
招 へ い 研 究	矢田茂樹	横浜国立大学教育学部 助教授	木材の改質に関する研究（難燃処理と難燃材の性能評価）	6.24～6.27	木材工業部
	細野邦昭	工業技術院微生物工業技術研究所 酵素工学研究室長	バイオリクターを用いた新しい酒類の試験（微生物固定化法及び発酵について）	7.1～7.4	食品工業部
	山口為男	佐賀県立工業大学 非常勤講師	長石質陶石を用いた陶磁器新素材の開発研究（陶磁器の原料調製と焼成技術）	7.23～7.26	窯業部
	宇佐波徳美	ウサナミデザイン研究所 代表 （中小企業大学校登録研修指導員）	地場産業活性化に関するデザイン開発研究（地場産業活性化における各地の状況と問題点）	8.1～8.3	デザイン開発室
	矢田茂樹	横浜国立大学教育学部 助教授	合成樹脂の加圧注入試験エクステリアウツドの調査	11.11～11.13	木材工業部
	木村邦夫	九州工業技術試験所 資源開発部	微粉砕シラスを利用した新素材の開発研究（微粒シラスバルーンの製造技術）	11.12～11.15	窯業部
	細野邦昭	工業技術院微生物工業技術研究所 酵素工学研究室長	反応条件の検討及び評価	12.9～12.11	食品工業部
	宇佐波徳美	ウサナミデザイン研究所 代表 （中小企業大学校登録研修指導員）	本県における地域おこし事業に関するデザイン開発	2.26～2.28	デザイン開発室
	矢田茂樹	横浜国立大学教育学部 助教授	シラス混合塗料の評価及び木材の染色	〃	木材工業部
	平田好洋	鹿児島大学工学部	セラミック複合材料の基礎技術（セラミック複合材料の現状と将来展望について）	3.24～3.27	窯業部
宇佐波徳美	ウサナミデザイン研究所 代表 （中小企業大学校登録研修指導員）	奄美産材の今後の加工展開について	3.25～3.27	デザイン開発室	
派 遣 研 究	西元研了	工業技術院繊維高分子材料研究所	高分子材料の評価技術に関する研究	11.18～12.16	化学部
	尾前宏	工業技術院製品科学研究所	電磁シールド材の開発及び評価技術の研究	2.1～3.1	電子部
	前野一朗	工業技術院九州工業技術試験所	セラミックスの強度評価技術の研究	2.7～2.20 3.1～3.15	機械金属部

6-3 職員派遣研修

職 員 名	研 修 先	研 修 名	期 間
袖 山 研 一	日本電子(株)	EPMA 研修	4. 9～ 4. 18
向 吉 郁 朗	中小企業大学校 工業技術院化学技術研究 所	中小企業技術指導員養成課程 新材料6ヶ月コース	5. 16～11. 21
久 保 敦	中小企業大学校 工業技術院九州工業技術 試験所	中小企業技術指導員養成課程 新製品開発6ヶ月コース	〃
瀬戸口 正 和	大阪大学溶接工学研究所	溶射技術の研究	7. 8～ 7. 29
森 田 慎 一	マレーシア, オーストラ リア	平成3年度鹿児島県職員海外派遣研修	11. 10～11. 23
瀬戸口 正 和	大阪大学溶接工学研究所	シラスの溶射への適用研究	11. 11～11. 22
袖 山 研 一	工業技術院九州工業技術 試験所	微粒シラスバルーンの製造技術研究	11. 16～11. 30

6-4 一日工業技術センター開催事業

県内の離島及び遠隔地域の中小の製造業者は、公設試験研究機関との接触が少なく、本上中心地域に比較し技術水準は低い。また、最近の工業技術の急速な進展の中で、地域の業界においてもこれに十分対応できる技術力が求められている。

本事業は、これらの地域を対象に技術指導・相談会を開催し、当該地域の工業技術の向上を図ることを目的とする。

地 域	開 催 日	参加企業名・指導企業名	指 導 内 容
熊毛地区 屋久島 (2町)	平成3年 7月16日 ～18日 屋久町 ・合同庁舎 ・屋久町役場 安房支所 上屋久町 ・屋久町離島開 発総合セン ター	参加者数：45名 (指導企業名) 鹿島木材 羽馬工芸 竹之内工芸 (旬)キクナガ観光 (旬)矢野工芸 福里工芸 岩川工芸 (旬)はとや観光 岳南工芸社 堀田木材工芸 屋久島フルーツガーデン 屋久島電工(株) 本防酒造 三岳酒造(株) 春田水産 やくしま食品 他	開所式 講演：「屋久町の地域おこしのために」 熊毛支庁長 古市 吉男 センター紹介(ビデオ利用)：企画情報室 講習会：「木工芸品とデザイン」 デザイン開発室 恵原 要 技術相談・現地指導 業界の主な指導内容 (木工芸・機械金属・窯業関連) ・加工法・接合法の改良 ・旋盤用刃物、工具の改善 ・塗装技術の向上 ・品質管理 ・新製品開発 ・デザイン (食品・化学) ・食品保存、殺菌法 ・品質管理・省力化 ・デザイン ・新製品開発 ・廃棄物処理・有効利用 ・草木染めの技術
徳之島・沖 永良部地区 徳之島 (3町) 沖永良部 (2町)	平成3年 12月3日 ～5日 徳之島 ・農産物選果セ ンター ・徳之島町役場 沖永良部 ・研修センター	参加者数：64名 (指導企業名) (旬)平瀬製菓 森福堂 廻製作所 S.A.P企画 久保鉄工所 河島農機具製作所 天城町生活改善グループ 徳之島町生活改善グループ 上木商事 徳田工芸 福元製菓 徳之島物産品販売 南西糖業(株) 徳之島コーラルリーフ(株) シーエスバイオ(株) 新納酒造(株) 徳田酒造(株) 知名・和泊生活改善グループ 奄美グァバ茶産業 他	開所式 センター紹介(ビデオ利用)：企画情報室 講習会：「最近の加工食品について」 企画情報室 水元 弘二 ：「パッケージ(包装)のデザインについて」 デザイン開発室 恵原 要 ：「食生活と微生物」 食品工業部 長谷場 彰 技術相談・現地指導 業界の主な指導内容 (木工芸・機械金属・窯業関連) ・新製品開発 ・自動化 ・陶業技術 (食品・化学) ・新製品開発 ・食品保存法、加工法、殺菌法 ・パッケージデザイン、ネーミング ・CADの利用法 ・廃棄物処理、有効利用 ・自動化、省力化

6-5 生涯学習県民大学の開講

県民が健やかで生きがいのある人生を築くとともに、潤いと活力のある地域社会の実現を図るため、今年度から知事部局からも参加して、60講座を開催し、生涯学習の推進に当たった。当工技センターでは「知って得するくらしの科学」講座を開講（14科目）した。

1. 名称・学科・受講者数		知って得する くらしの科学 学科 受講者数24人(男12人・女12人)							
2. 開設期間		平成3年7月22日～平成3年8月9日							
3. 運営委員会の構成		役割	氏名	職名	役割	氏名	職名		
		委員長	今川 耕治	所長	委員	児浦 純大	デザイン開発室長		
		副委員長	大迫 陽一	副所長	〃	国生 徹郎	企画情報室		
		委員	山内 康平	庶務部長	〃(事務)	修行ヒデ子	庶務部		
		〃	堀切 政幸	企画情報室長	〃(運営)	水元 弘二	企画情報室		
4 学 習 内 容 ・ 時 間 表 ・ 講 師 名	月	日	曜	学 習 内 容		時間数	講 師 名		
	7	22	月	オリエンテーション (工技センター紹介等)		2	水元 弘二		
		23	火	デザインと生活 -私をデザインする-		2	野田 和信 (デザイナー)		
		24	水	本場大島紬あれこれ		2	仁科 勝海		
		25	木	鹿児島島の温泉		2	大迫 陽一		
		26	金	シラスの活用いろいろ		2	中重 朗		
		29	月	食生活と微生物		2	長谷場 彰		
		30	火	郷土の焼物について		2	尾前喜八郎 (陶芸家)		
		31	水	石ケンの話		2	長野 昭久 (長野油化工業(株))		
	8	1	木	木を科学する		2	遠矢良太郎		
		2	金	暮らしの中のエレクトロニクス		2	永吉 弘己		
		5	月	サツマ焼酎の話		2	浜崎 幸男		
		6	火	刃物の科学 -刃の切れ味を科学する-		2	清藤 純一		
		7	水	木造住まいの保存法		2	山田 式典		
	8	木	身近な金属製品のできるまで		2	浜石 和人			
	9	金	美しい街づくりを考える 終了式		2.5	瀬戸口和人 (ユニオンアーツ(株)) 企画情報室			
計						30.5			
5 外 部 講 師	所 属	職 名	氏 名	担 当 時 数	所 属	職 名	氏 名	担 当 時 数	
	デザイン事務所	主 宰	野田 和信	2	長野油化工業(株)	代 取 締 表 役	長野 昭久	2	
	ユニオンアーツ(株)	代表取締役	瀬戸口和人	2	尾 前 窯	陶 芸 家	尾前喜八郎	2	

6-6 視察・見学者（主なもの）

月 日	企 業・団 体 名 等	人 数	月 日	企 業・団 体 名 等	人 数
5. 27	始良地域新規採用新任職員	60	10. 29	韓国全羅北道副知事他	5
5. 28	錦町商工会青年部	16	11. 6	北見市住宅建築家	2
5. 29	九州各県環境食品乳肉衛生関係主管課長	30	11. 8	鹿児島県工業団地現地説明会（東京地区）	3
5. 31	町立日当山・中福良小学校3, 4年生	154	11. 13	北海道経済連合会	15
6. 5	宮崎県異業種グループ「進進会」	9	11. 14	防災行政研修（海外研修員含）	8
6. 7	木材利用研究会	60	11. 21	鹿児島大学理学部物理学科	60
6. 10	宮之城屋地区公民館長	17	〃	京都工業会	25
6. 14	防災行政管理者セミナー（海外研修員含）	16	11. 25	江蘇省科学技術研修生	12
6. 29	県内高等学校現代社会倫理政治経済担当者	46	〃	三重県商工労働企業常任委員会	12
7. 4	鹿児島市立桜丘中学校PTA	98	11. 29	太陽光発電技術研究組合	25
7. 11	県立沖永良部高等学校2年生	95	〃	鹿児島県地下資源開発促進協会	50
7. 24	国分市選挙管理委員会	18	12. 6	日本分析化学会九州支部	40
8. 6	日吉町校長会	10	12. 7	高山町老人クラブ連合会	30
8. 20	始良町新聞少年研修	40	1. 10	始良伊佐郡町議会事務局	12
8. 27	九州地区工業化学教育研究会	70	1. 14	鶴田町婦人団体連絡協議会	23
8. 29	農水省食品流通局	2	1. 21	地域振興整備公団・日本開発銀行	6
9. 3	大口農業改良普及所	9	1. 22	岐阜県商工労働部商工課	2
9. 7	川内市中央公民館講座	27	1. 28	大分瓦斯(株)	2
9. 20	自民党総合農政調査会	9	1. 31	熊本発明研究会	10
9. 24	鹿児島市立武岡小学校PTA研修部	100	2. 24	喜入町教育委員会	8
9. 25	九州テクノネットワーク推進委員会	25	3. 4	熊本県工業技術センター	2
9. 26	波佐見陶磁器工業協同組合	6	3. 6	広島県立西部工業技術センター	7
10. 8	大隅肝属地区消防組合	50	3. 7	(社)鹿児島県栄養士会	30
〃	韓国全羅北道公務員研修団	36			
10. 15	出水地区社会教育委員連絡協議会	31			
10. 16	九州通産局経済理論研修生	4			
10. 17	県立鹿児島東高等学校PTA研修部	35			
10. 23	千葉県議会警察企業委員会	20			
				県 内	県 外
				国 外	計
			件 数	202	72
				7	281
			人 数	3,831	715
				70	4,616